

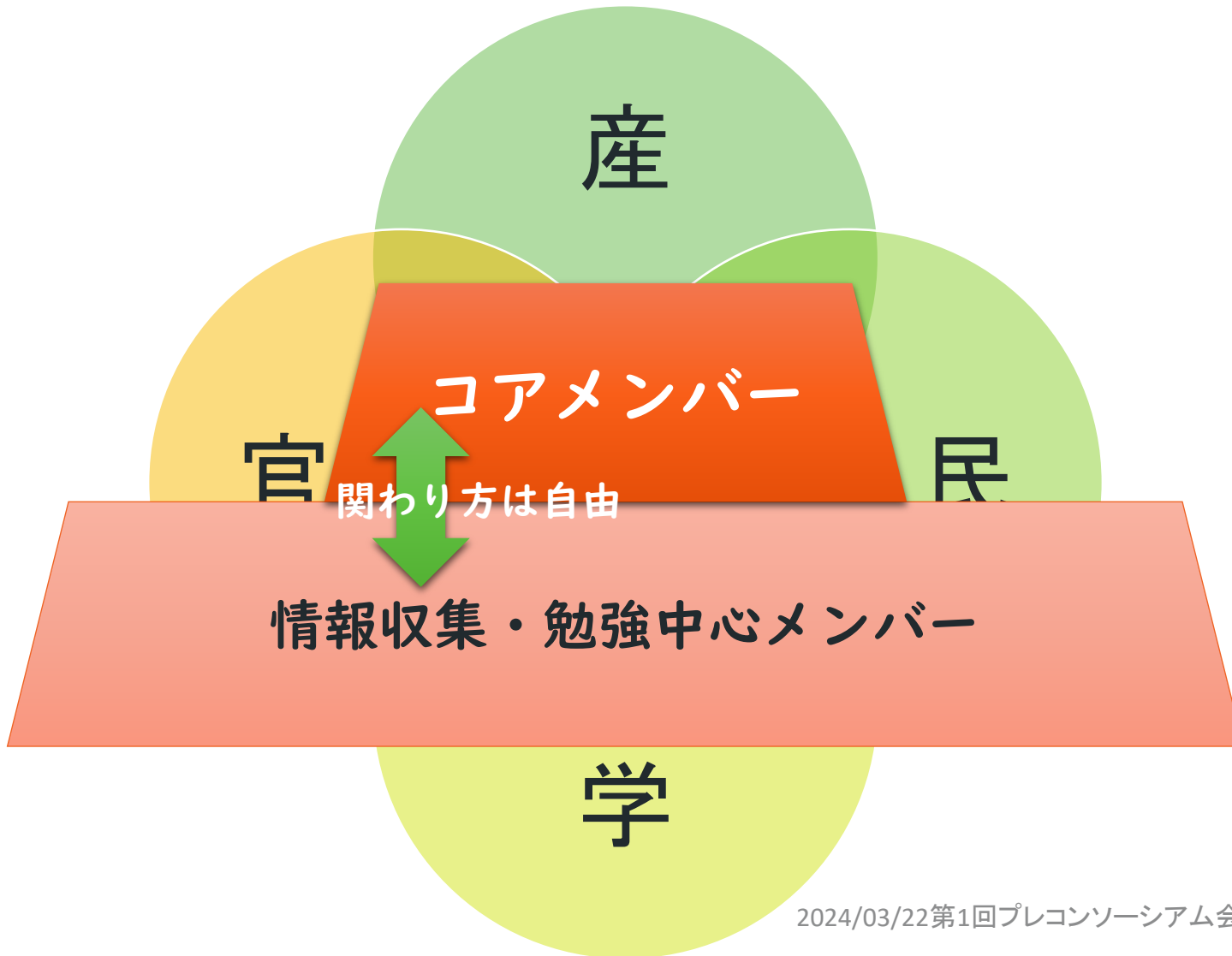
NCGG-UniCo

プロジェクトの構想と初年度の進捗



国立長寿医療研究センター
老年社会科学研究部
NCGG-UniCoプロジェクトリーダー
齋藤 民

はじめに： UniCoプレコンソーシアム（2023-2024）とは？



- ・ 認知症に優しい施設づくりの意見交換、勉強会や共同開発準備を進める場
- ・ コアメンバーは2025から共同開発へ

構成

- UniCoプロジェクトの構想
- 初年度研究進捗状況の共有
- 2024年度プレコンソーシアム会議と勉強会の提案

構成

- UniCoプロジェクトの構想
- 今年度研究進捗状況の共有
- 2024年度プレコンソーシアム会議と勉強会の提案

NCGG-Universal Community (NCGG-UniCo)

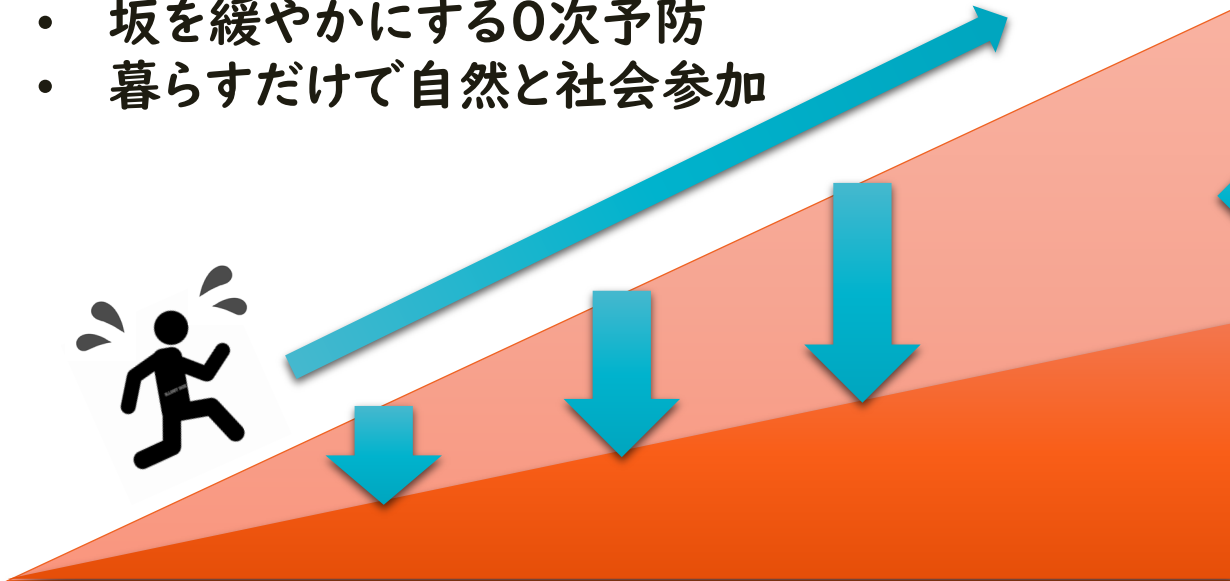
基本コンセプト

すべての人に社会参加とウェルビーイングを

認知症やさまざまな障害があっても
社会生活や経済生活を継続、認知症スティグマ軽減と
ウェルビーイングを目指す環境への介入と検証

- 坂を緩やかにする0次予防
- 暮らすだけで自然と社会参加

社会参加



ユニバーサル・フレンドリ・ファシリティ
NCGG-UniCo

複合要素からなる「仕掛け」

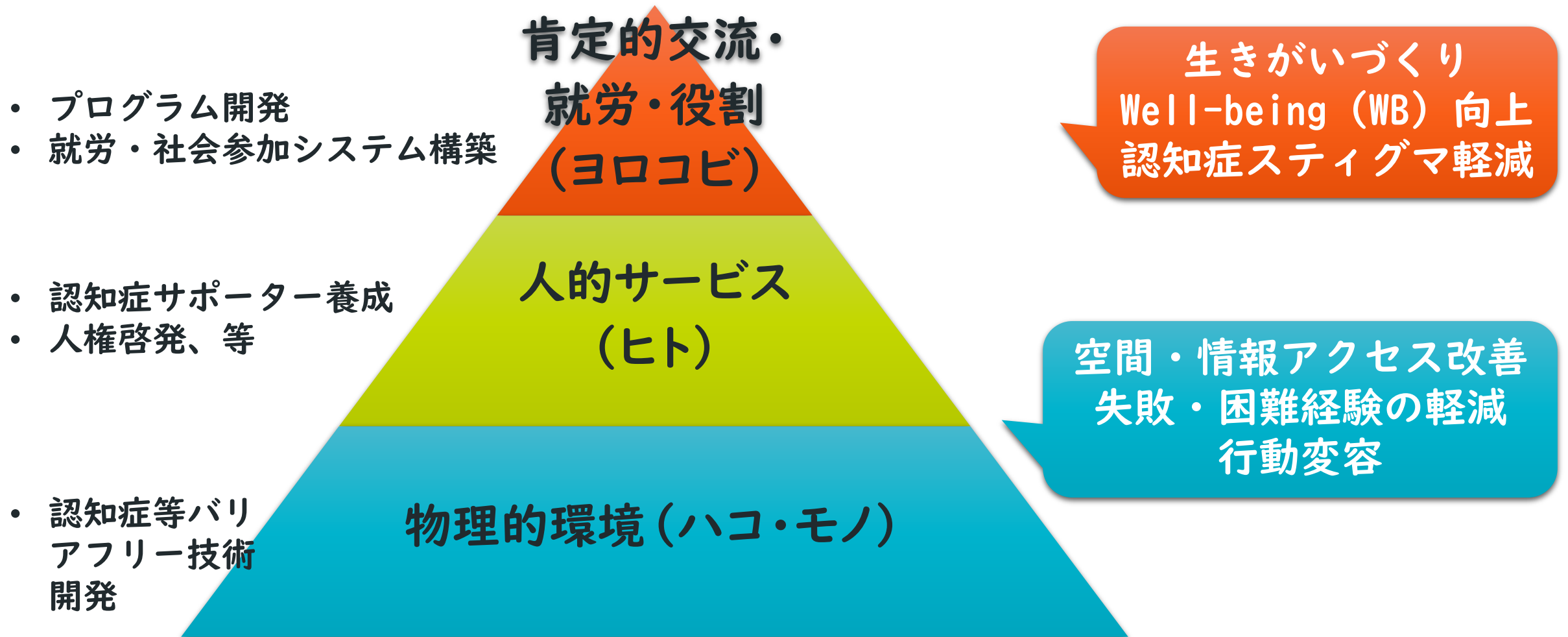
ハコ：施設環境

ヒト：人材育成

ヨロコビ：

肯定的交流促進、就労

UniCo施設に必須の3要素と位置づけ



UniCo施設には「ヨロコビ」が必要

- ステイグマ軽減、WB向上に不可欠
- 「通いの場」の概念を変える
 - 公共施設中心の活動を、人が集まるところ（＝商業施設）にも
 - 「意図して集める」から「自然と集まってしまう」へ

例) ウェルシア薬局株式会社「ウェルカフェ」
- 商業施設を目的達成のみの場から「+WB提供の場」に
 - スペース設置だけでなくWBが高まる仕掛けも必要



(認知症) になって心配したけどAさん生き生きしているよ



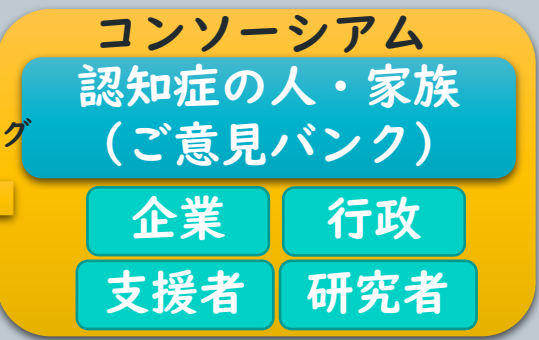
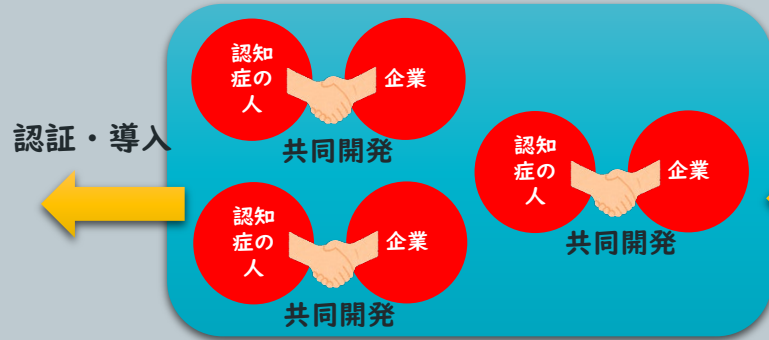
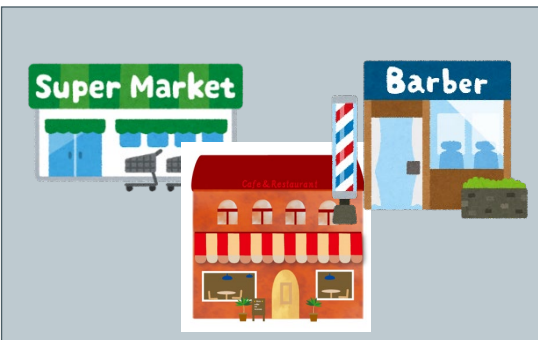
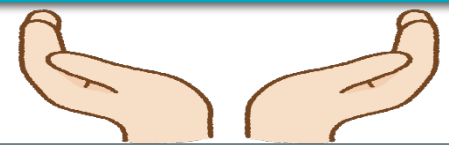
スティグマ軽減

UniCoなスーパーなら



このスーパーでは交流も楽しいの

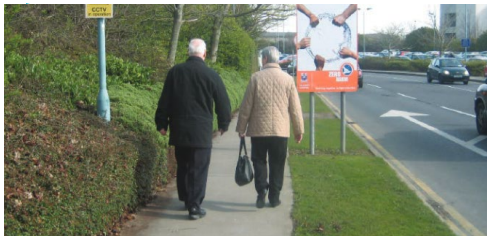
暮らすだけで人もまちもウェルビーイング



産官学民連携 根拠に基づく開発 地域活性、健康政策

大規模から小規模まで多様な開発例

インフラレベル



(<https://dementia.ie/wp-content/uploads/2018/01/UD-DFH-Guidelines-2018-Full-doc-lw-res-compressed-A1.pdf>)

施設内設備



(<https://newsroom.lixil.com/ja/20220511>)

備品



(<https://www.eatwellset.com>)



(<https://dac.tsukuba.ac.jp/100dfc/aichi-okazaki.html>)

就労システム



サポーター研修 改良版

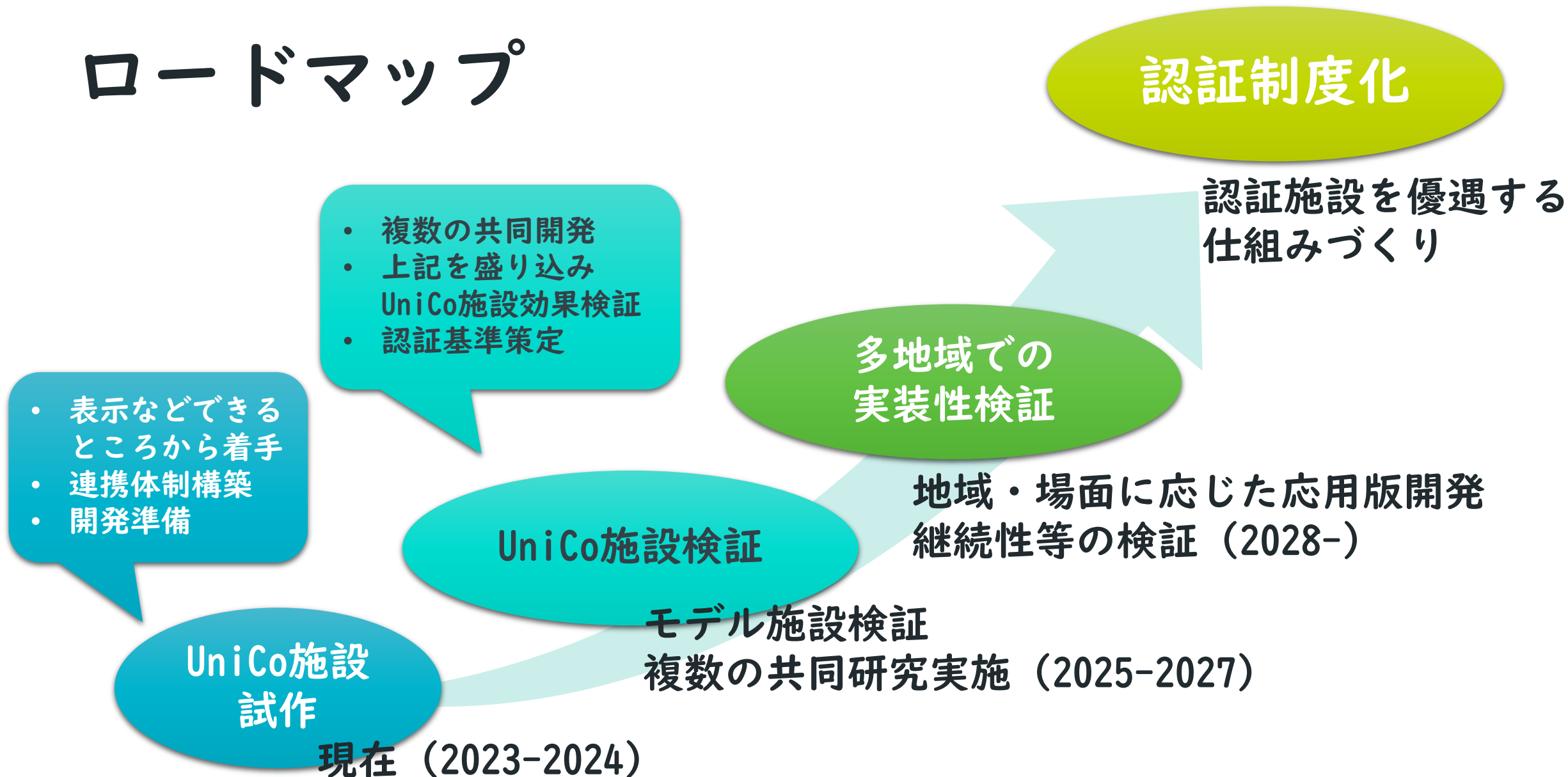
表示



大規模

小規模

ロードマップ



2023～2024年度

・産官学民連携体制の構築

- ・プレコンソーシアム開始
- ・開発項目別の小ワーキンググループ始動、開発準備へ
- ・認知症の人や家族の「ご意見バンク」構築に向け
 - ・開発協力（社会参加）する認知症の方や家族グループ形成
 - ・将来、他の当事者団体に拡張（⇒ユニバーサル）予定
 - ・地域による運用可能性の検討

・研究項目

- ・外出行動の同定
- ・認知症の人との街歩き調査
- ・社会生活機能尺度の開発
- ・UniCo施設のプロトタイプ導入
 - ・表示改善に着目
- ・肯定的交流プログラムの開発と検証

2025～2027年度

- UniCo施設導入を目指すプロダクト・プログラムの複合開発
 - 各ワーキング中心
- 上記を複数導入したUniCo施設の効果検証
 - 長寿研保有のコホートデータ、ご意見バンク等
 - 経済的効果、地域への波及効果も含め検証予定
- 認証制度の設計
 - 評価基準の策定（効果、科学的根拠、地元施設への導入、等）
- あいちモデル？完成

構成

- UniCoプロジェクトの概要
- **今年度研究進捗状況の共有**
- 2024年度プレコンソーシアム会議と勉強会の提案

初年度活動報告

- **産官学民連携体制の構築**
 - 行政、関係機関、企業、研究者とのネットワーキング
 - InAge2023出展
 - 共用品機構ヒアリング
 - コンソーシアムキックオフ準備会議（2回）
 - キックオフ会議（12月）
- **外出行動同定のための調査実施**
- **認知症の人との街歩き調査準備**
- **先行事例収集**
- **ロゴマーク作成**
- **事務局会議（毎週）、定例会議（毎月）**

ロゴマーク作成



• ロゴに込めた思い

- 多色使いは多様な立場の人が協働するイメージ
- 誰にも身近なカタカナ表記
- ユニバーサルカラー、希望をイメージする色合い

• シブヤフォントに作成を依頼

- シブヤフォント：障害のある人とアーティストや学生が協働して制作を行い、売り上げを福祉作業所に還元する活動を実施

認知症の人の外出行動の同定



認知症の人はどこに出かけるのか？

- 社会参加は高齢者のウェルビーイングに重要
- 認知症になると・・・
 - 「どこに行けなくなるのか？」
 - 「どこに行き続けたいのか？」
- 一般高齢者との比較から検証



本日は中間集計を紹介（転載禁止）

マイヤスーパー視察



概要

- 日時：2024年3月14日（木）
- 訪問先：
 - マイヤスーパー滝沢店（スローショッピング）
 - 同 仙北店（認知症にやさしいトイレ）



スローショッピング創始者
紺野敏昭先生（右）と

スローショッピングとは



- 2019年開始、毎週木曜午後開催
- 買い物をやめた認知症の人の症状悪化に気づいた紺野医師が、買い物を実現するために考案
- 買い物パートナーと、自由に買い物
 - 一般客も利用
- 買い物後はサロンで交流
- 2023年度よりダイハツが送迎車両貸出し
- 2024年2月、通算4000人を突破

「ヒト」 + 「ハコ」 + 「ヨロコビ」 の複合サービス

認知症にやさしいトイレとは

公共トイレの設計や管理に関わる皆さまへ

公共トイレ ハンドブック

認知症編

2018年
（社）日本福祉文化財団
第3回
認知症とともに生きるまなま大賞
ニューエープ賞（特別賞）
受賞

(野口祐子編, 2018)

役立つ工夫①
男女共用トイレ

男女共用トイレは、介護や高齢者などの利用に非常に有効です。利用者の負担を減らすことができます。また、利用者のプライバシーを確保することもできます。利用者の負担を減らすことで、利用者の利用意欲を高めることができます。

役立つ工夫②
待合場所（ベンチ）

待合場所には、ベンチを設置することで、利用者の負担を減らすことができます。また、利用者のプライバシーを確保することもできます。利用者の負担を減らすことで、利用者の利用意欲を高めることができます。

役立つ工夫③
迷わないカギ

迷わないカギは、利用者の負担を減らすことができます。また、利用者のプライバシーを確保することもできます。利用者の負担を減らすことで、利用者の利用意欲を高めることができます。

役立つ工夫④
迷わないボタン

迷わないボタンは、利用者の負担を減らすことができます。また、利用者のプライバシーを確保することもできます。利用者の負担を減らすことで、利用者の利用意欲を高めることができます。

欲しい設備①
大人用おむつ自動販売機

大人用おむつ自動販売機は、利用者の負担を減らすことができます。また、利用者のプライバシーを確保することもできます。利用者の負担を減らすことで、利用者の利用意欲を高めることができます。

欲しい設備②
大人用おむつ処理機

大人用おむつ処理機は、利用者の負担を減らすことができます。また、利用者のプライバシーを確保することもできます。利用者の負担を減らすことで、利用者の利用意欲を高めることができます。

【研究チーム】
野口祐子（日本福祉文化財団）
佐藤 真（福祉文化財団）
佐藤 真（福祉文化財団）

【お祝い状】
日本福祉文化財団 福祉文化財団 福祉文化財団
野口祐子（福祉文化財団）
TEL: 0480-34-4111 (代)

SHARE f t in ニュースルーム内検索

2022年05月11日 企業ニュース | プレスリリース | Japan

【インクルーシブなパブリックトイレを目指して】“認知症バリアフリー”を目指す男女共用トイレを実現

(<https://newsroom.lixil.com/ja/20220511>)

構成

- UniCoプロジェクトの概要
- 今年度研究進捗状況の共有
- **2024年度プレコンソーシアム会議と勉強会の提案**

2024年度 プレコンソーシアムと勉強会の提案

2024.3

2024.5

2024.7

2024.9

2024.11

2025.1

2025.3

第1回
プレコンソ
(本日)

勉強会

勉強会

第2回
プレコンソ
(中間報告)

勉強会

勉強会

第3回
プレコンソ
(シンポジウム)

- プレコンソーシアム（3月、9月、3月）
 - あり方会議、プロジェクトの進捗共有、ゲスト講演等
 - 2025年3月は、公開シンポジウム開催
 - ハイブリッド（会場とオンライン）
- 勉強会（5月、7月、11月、1月）
 - **参加者主体**の話題提供、進捗状況の報告
 - オンライン

2024年度 勉強会のイメージ

皆様のご意向、
ご要望はいかが
でしょうか？

2024.3

2024.5

2024.7

2024.9

2024.11

2025.1

2025.3

第1回
プレコンソ
(本日)

勉強会

勉強会

第2回
プレコンソ
(中間報告)

勉強会

勉強会

第3回
プレコンソ
(シンポジウム)

ワーキングA始動



話題提供

活動報告

進捗報告

ワーキングB始動



話題提供

活動報告

進捗報告

活動報告

参加者主導

参加者主導

ワーキング始動



話題提供

活動報告

参加者主導

全体との共有

参加者主導

参加者主導

全体との共有

プロジェクトメンバー紹介 (2024)

リーダー

齋藤 民
疫学・社会老年学

マネージャー

岡橋 さやか
作業療法学

経理責任者

中井 翼

プロジェクトチーム

連携体制構築 プロトタイプ作成と評価 社会生活機能尺度開発

進藤 由美
公共政策学

野口 泰司
理学療法学

大沢 愛子
認知症医学

植田 郁恵
作業療法学

加藤 健治
医療福祉工学

共同プロジェクトA

- ・ データ構築
- ・ 外出行動成果報告

小松 亜弥音
社会福祉学

金 雪瑩
ヘルスサービ
スリサーチ

共同プロジェクトB

- ・ 肯定的交流プログラ
ム開発検証

李 相倫
健康科学

齊藤 千晶
作業療法学

研究協力者 (研究助言・情報提供等)

二瓶美里 (東京大学)

清川清 (奈良先端科学技術大学)

堀田聰子 (慶應義塾大学)

中島民恵子 (日本福祉大学)

野口祐子 (日本工業大学)

大高恵莉 (国立長寿医療研究センター)

大府市、東浦町

東浦町介護者の会

山口喜樹・杉本一美 (名古屋市認知症相談
支援センター、名古屋市認知症当事者の会)

株式会社アイム

三菱UFJ銀行 他



ご清聴ありがとうございました

齋藤 民 : t-saito@ncgg.go.jp